

学位審査出願 提出書類記入例

課程博士用

書類の名称をクリックして、記入例・作成例をご覧ください。

a	表紙 ※任意様式.....	2
b	博士論文審査願.....	3
c	指導教員承認書.....	4
d	承諾書.....	5
d	承諾書（英語版） ※任意様式.....	6
e	履歴書.....	7
g	博士論文の利益相反申告書.....	8
h	論文目録.....	10
i	論文内容要旨.....	11
j	自己担当部分についての報告書 ※任意様式.....	13

Study on Collagen in Macular Mice
(Macularマウスのコラーゲンに関する研究)

滋賀医科大学大学院医学系研究科医学専攻

滋賀 太郎

b 「博士論文審査願」記入例
別紙様式1（課程博士用）

博 士 論 文 審 査 願

0000年00月00日

滋賀医科大学長 殿

0000年度入学

(ふりがな) しが たろう
氏 名 滋賀 太郎



滋賀医科大学学位規程第4条第1項の規定により，下記のとおり関係書類を添えて提出しますので審査をお願いします。

記

論 文 目 録
博 士 論 文
論文内容要旨
博士論文の利益相反申告書
履 歴 書

(備考)

1. 参考論文がある場合は，提出すること。
2. 博士論文が共著である場合は，共著者の承諾書及び自己の担当部分についての報告書を提出すること。
3. 博士論文が未公表の場合は，掲載予定証明書を提出すること。

指 導 教 員 承 認 書

0000年00月00日

滋賀医科大学長 殿

指導教員氏名

西村 三郎



下記の論文を学位論文として提出することを承認します。


記

論文題目	
Study on Collagen in Macular Mice (Macular マウスのコラーゲンに関する研究)	
専攻名	医学専攻
部門(コース)	高度医療人コース
氏名	滋賀 太郎

承 諾 書

0000年00月00日

滋賀医科大学長 殿

(ふりがな) おの いちろう
氏 名 小野 一郎 
勤務先 滋賀医科大学〇〇〇〇講座
現住所 滋賀県大津市△△町△△丁目△
△番△△号
電 話 000-0000-0000

下記の論文を 滋賀 太郎 が貴大学院医学系研究科に博士論文として提出す
(論文提出者)
ることを承諾します。

なお、私は当該論文を博士論文として学位の授与の申請に使用いたしません。

記

論文題目 Study on Collagen in Macular Mice
(Macular マウスのコラーゲンに関する研究)

著 者 名 滋賀太郎、Sara Turner、小野一郎、茂木二郎、西村三郎

掲載誌名 Journal of Dermatological Research and Innovation

巻・頁・年 第12巻第3号 456頁～567頁 2024年00月発行

To the president of Shiga University of Medical Science

I give a consent for Taro Shiga to submit the following paper as a doctoral dissertation to your post-graduate course.

And I shall not use that paper as my doctoral dissertation.

Title: Study on Collagen in Macular Mice

Author: Taro Shiga, Sara Turner, Ichiro Ono, Jiro Mogi & Saburo Nishimura

Journal: Journal of Dermatological Research and Innovation

Volume, page, year: 12, 456 (2024)

Office: University of ○○○○

Tel. / E-mail: +81 00 0000 0000

Name: Sara Turner

Signature: Sara Turner Date: 7/10/2024

共著者の直筆サインをもらうこと

履 歴 書

※整理番号	本籍地	滋賀県
(男)・女		
(ふりがな) しが たろう	氏 名 滋賀 太郎	0000年00月00日生
現 住 所	滋賀県大津市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号 〇〇マンション 〇〇号室	
学 歴	0000年4月1日 滋賀医科大学医学部入学 0000年3月00日 同上卒業 0000年4月1日 滋賀医科大学大学院医学系研究科入学 現在に至る	
研究歴	0000年4月1日 滋賀医科大学大学院医学系研究科入学 現在に至る	
職 歴	0000年00月00日 滋賀医科大学医学部附属病院医員（研修医）として〇〇科に勤務 0000年00月00日 同上退職 0000年00月00日 滋賀医科大学医学部附属病院医員として〇〇科に勤務 0000年00月00日 同上退職	
免許・資格等	0000年00月00日 医師免許証下付（第0000号）	
賞 罰	なし	
以上のとおり相違ありません。		
	0000年00月00日	自署すること
	氏 名 滋賀 太郎	印

（備考）※印の欄には記入しないこと。

博士論文の利益相反申告書

滋賀医科大学長 殿

学位申請者氏名： 滋賀 太郎

所属・大学院学年あるいは職名： 滋賀医科大学大学院医学系研究科医学専攻4年

論文名（著者，題名，掲載誌名，巻，頁，年）：Study on Collagen in Macular Mice. Taro Shiga, Sara Turner, Ichiro Ono, Jiro Mogi, Saburo Nishimura. Journal of Dermatological Research and Innovation. 12, 456 (2024)

博士論文に関連して，開示すべき利益相反関係にある企業などを項目ごとに記載する

項目	該当の状況	有の場合，企業名などの記載
① 企業や営利を目的とした団体の役員，顧問職などの有無と報酬額（1つの企業・団体から年間50万円以上のものを記載）	(本人) 有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
② 株の保有と，その株式から得られる利益（1つの企業の1年間の利益が50万円以上，あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載）	(本人) 有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
③ 企業や営利を目的とした団体から特許使用料として支払われた報酬	(本人) 有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
④ 企業や営利を目的とした団体から，会議の出席（発表）に対し，研究を拘束した時間・労力に対して支払われた日当，講演料など（1つの企業・団体からの年間合計50万円以上のものを記載）	(本人) 有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
⑤ 企業や営利を目的とした団体からパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料（1つの企業・団体から年間合計50万円以上のものを記載）	(本人) 有・ <input checked="" type="radio"/> 無	

⑥ 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費（委託受託研究，共同研究）など（注） （1つの企業・団体から支払われた総額が年間50万円以上のものを記載）	（研究グループ） 有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
⑦ 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学寄附金（奨励寄附金）などの有無（注） （1つの企業・団体から支払われた総額が年間50万円以上のものを5年前までさかのぼって記載）	（研究グループ） 有・ <input checked="" type="radio"/> 無	

（注）⑥，⑦については，学位申請者個人だけでなく，学位申請者や共著者が所属する部局（講座，分野）あるいは研究室なども含め，研究成果の発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業や団体などからの研究経費，奨学寄附金などの提供があった場合に申告する必要がある。

以下の項目については，博士論文に関係なく，記載する。

⑧ 企業に所属している者あるいは営利を目的とした団体が提供する寄附講座に所属している者 （所属先の企業，寄附講座に所属している著者の名前と企業名を記載）	（著者全員） 有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
⑨ 研究とは無関係な旅行，贈答品など （1つの企業・団体から年間5万円以上のものを記載）	（本人） 有・ <input checked="" type="radio"/> 無	

申告日 0000年 00月 00日

所属（講座名・社会人入学者の場合は本務先の企業名も記載）
滋賀医科大学〇〇講座

出願者が自署すること

申告者署名 滋賀 太郎

責任著者が自署すること

責任著者署名 西村 三郎

論 文 目 録

※整理番号		(ふりがな) 氏 名	しが たろう 滋賀 太郎
<p>博士論文題目</p> <p>Study on Collagen in Macular Mice (Macular マウスのコラーゲンに関する研究) Journal of Dermatological Research and Innovation 第12巻第3号 456頁～567頁 2024年00月発行 著者名：Taro Shiga, Sara Turner, Ichiro Ono, Jiro Mogi, Saburo Nishimura</p> <p>参考論文題目</p> <p>1 Three Case Studies of Orbital Floor Fractures in Children Journal of Maxillofacial Trauma and Pediatric Surgery 第00巻第0号 000頁～000頁 0000年00月発行 著者名：Ichiro Mizuno, Jiro Mizuno, Taku Nakajima, Taro Shiga</p> <p>2 Treatment Outcomes of Stomatitis with TL-102M: A Comparison with Placebo Journal of Oral Medicine and Therapeutic Research 第000号 000頁～000頁 0000年00月発行予定 著者名：Koichi Matsuda, Jiro Mizuno, Taku Nakajima, Taro Shiga</p>			

(備考) ※印の欄には記入しないこと。

論 文 内 容 要 旨

※整理番号		(ふりがな) 氏 名	しが たろう 滋賀 太郎
博士論文題目	Study on Collagen in Macular Mice (Macular マウスのコラーゲンに関する研究)		
<p data-bbox="268 591 355 629">【目的】</p> <p data-bbox="268 869 355 907">【方法】</p> <p data-bbox="268 1146 355 1184">【結果】</p> <p data-bbox="268 1509 355 1547">【考察】</p>			

- (備考) 1. 論文内容要旨は、研究の目的・方法・結果・考察・結論の順に記載し、
2千字程度でタイプ等で印字すること。
2. ※印の欄には記入しないこと。

i 「論文内容要旨」(続紙) 記入例

別紙様式4の2 (課程博士・論文博士共用)

(続 紙)

The image shows a large rectangular box with a black border, intended for writing a summary. At the top of the box, there are three horizontal blue wavy lines. The first line is a solid blue wavy line. The second line is a solid blue wavy line. The third line is a solid blue wavy line that ends with a small blue circle (a period) on the right side. The rest of the box is empty, providing space for the main text of the summary.

自己担当部分についての報告書

滋賀医科大学長 殿

学位申請者氏名： 滋賀 太郎

【着想】

申請者は「食道癌の遺伝子異常」の研究について興味を持ち、数多く報告されている癌遺伝子のなかで cyclin D1 に着目し、食道癌における cyclin D1 遺伝子の増幅、cyclin D1 mRNA 及び蛋白の発現、局在、cyclin D1 蛋白過剰発現の臨床的意義を検討した。

【方法論】

滋賀医科大学〇〇講座〇〇教授及び〇〇准教授により切除され、臨床病理診断に供された食道癌組織は、滋賀医科大学〇〇講座〇〇教授に診断していただき、臨床病理学的検討のデータとした。遺伝子の増幅（サザンブロット法）、mRNA の発現（in situ hybridization 法）は〇〇教授の、免疫組織化学染色は滋賀医科大学〇〇講座〇〇助教の指導を受けた。

【研究の施行】

すべての研究手技及びデータの整理を、申請者が行った。

【論文の作成】

滋賀医科大学〇〇講座〇〇教授から表現方法及び考察の助言を受けながら、申請者が論文の執筆及び図表の作成を行った。論文は、滋賀医科大学〇〇教授及び〇〇准教授の校閲を受けた。

【著者数が●名に至った理由】

出願者自身を含めた著者数を記入すること

（※共著者が申請者本人を含めて4名を超えない場合は記入不要）

実験的研究が広範囲かつ専門的であること、また材料に手術切除材料を使用していることから、滋賀医科大学〇〇講座〇〇教授、〇〇准教授、〇〇助教、滋賀医科大学〇〇講座〇〇教授の多大なる指導、助言をいただいたため、著者数が合計〇名に至った次第である。